令和6年度かさまつ子どもまちづくり会議 実施報告書

1. 事業概要

○目的

笠松町の児童生徒が、町のまちづくりに興味関心を持ち、現状のまちづくりに対する課題や解決策を検討し、それらを行政へ提言するとともに、児童生徒ならではの発想や意見を町の施策に取り入れることにより、町の更なる発展を目指す。

○対象者と参加者

「自慢できる笠松町」にするために、自分の思いや願いを伝えたい町内の小学5・6年生、中学1・2年生へ募集チラシを配布し、参加者を募った。

応募があった4名(小学生1名、中学生3名)を「かさまつ子どもまちづくり委員」と呼び、会議を実施した。

○実施期間及び会場

夏休み特別企画として、令和6年7月から8月までの夏休み期間中に「かさまつ子どもまちづくり会議」を4回開催した。

笠松中央交流センターを会議の会場とした。

会議の時間は午前9時30分から午前11時30分までの2時間とした。

○実施内容

会議への申込時に、事前提案を記載した申込用紙を提出。

事前提案をもとに、関係課の職員から施策と課題を聞いた。

自慢できる笠松町にするために、会議の中で意見交換を行い、委員各自が笠松町への提案(目的・ねらい→現状・課題→手段・手法→結果・形の4項目)を考えた。

提案を、模造紙(B紙)に記載して、提案を作品として完成させた。

会議の中で、自分の提案を発表した。

委員4名の提案(模造紙)を、笠松中央交流センターに掲示した。

4回の会議に委員全員が出席した。

2. 各会議の内容

4回実施した各会議の概要は、次のとおり。

第1回目 7月23日(火) はじめの会

申込みがあった4名(小学生1名、中学生3名)を令和6年度かさまつ子どもまち

づくり委員とし、今年度の会議の趣旨説明を行った。

その後、自己紹介、関係課の職員から施策と課題を聞き、「自慢できる笠松町」にするために、各自が提案を考え、意見交流を行った。

第2回目 7月30日(火) 作品作りの会

各自が、笠松町への提案を深く考えた。

提案は、「目的・ねらい→現状・課題→手段・手法→結果・形」の4項目の順序で作成とした。

特に、現状・課題、手段・手法は、より具体的に考えた。

提案完成に向けて、GIGA タブレットを使い、調査研究を行った。

第3回目 8月6日(火) 作品作りの会

前回に引き続き、提案を深く考えた。

提案作品の全体イメージとして、A3用紙に提案を順序立てして記入した。

その後、提案を模造紙(B紙)に記載した。

第4回目 8月20日(火) まとめ

各自が、提案を模造紙に記載して、提案を作品として完成させた。

完成した提案を発表した。

感謝状と記念品の贈呈、写真撮影を行った後、解散した。

自慢できる笠松町にするために、児童生徒からの提案テーマは、次のとおり。

○笠松町の道路

○イベントについて

○笠松町のPRについて

○笠松町の安全・安心について

3. かさまつ子どもまちづくり委員からのアンケート（抜粋）

- ・自分の意見を作品にし、そのために情報を集めたりして楽しかった。
- ・作品の意見をまとめるのがギリギリで、若干まとめるのが満足いかなかった所もあったので、5回くらいでもいいと思った。
- ・今回は1人で作ったけれど、みんなでの交流などでいい案をもらって楽しかった。
- ・1人1人だったから意見を出しやすかった。
- ・みんなで意見交流をして提案を考えたり出来たので良かったです。
- ・初めての参加だったけど、みんなで楽しくやる事が出来たので良かったですし、楽しかったです。